

津波ハザードマップと

防災マップを見直します



平成29年2月に、北海道から北海道日本海沿岸の新たな津波浸水想定が発表されました。この発表を受けて、市では現在、29年度中に新しい津波ハザードマップと防災マップを発行するため、これらのマップの見直しを進めています。そこで今回は、津波ハザードマップと防災マップの概要などについてお知らせします。

ハザードマップとは

地震、津波、大雨、土砂災害といった自然災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。

平成29年7月には、福岡県や大分県などを中心に、大雨

により人命や建物などに大きな被害がもたらされました。また、小樽市でも「記録的

短時間大雨情報」が発表され、幸い人的被害はありませんでしたが、一時的に道路が冠水したり、商業施設が浸水したりしました。

自然災害から身を守るため



ハザードマップ・防災マップの活用方法

危険箇所の確認

自宅の周辺、勤務先・学校、通勤（通学）経路にどのような危険箇所があるのか調べておきましょう。

避難場所・避難経路の確認

災害が起こったとき、必ずしも家族と一緒にいるとは限りません。家族で、避難する場所や経路を話し合っておきましょう。

防災の知識を深める

マップの防災情報を日頃から家族で学習しておき、いざというときに慌てず行動できるようにしましょう。

地域で活用する

町会や自主防災組織などの防災学習・防災訓練などの資料としても活用してください。

には、危険な場所から素早く安全に避難することが大切です。

そのためには、住んでいる地域の危険箇所、避難場所や安全な避難経路などを日頃から確認しておくことや、災害に関する正しい知識を身に付けておくことが必要です。

ハザードマップは、予測される災害の発生地点や被害の範囲、程度のほか、避難場所や避難経路などの情報、災害に関する知識などを掲載し、災害時における市民の皆さんの適切な避難行動に役立てていただくものです。

市では、津波、土砂災害、洪水（星置川流域）の3種類のハザードマップを作成している市民の皆さんに配布している

津波ハザードマップに掲載を予定している情報

平成29年2月に北海道が発表した津波浸水想定のうち、小樽市への影響が最も大きい三つの津波についての情報を掲載する予定です。

なお、小樽市は海岸線が長いので、7地区に分けてハザードマップを作成する予定です。

浸水域	津波によって浸水する範囲
浸水深	浸水の深さ ~0.3m、0.3m~0.5m、0.5m~1m、1m~3m、3m~5m、5m~10mの6段階に区分して表示
最大遡上高	津波が到達する最高の標高
津波影響開始時間	海中や海岸にいる人たちの生命に影響する恐れのある水位変化(±20cm)が生じるまでの時間
第1波ピーク到達時間	第1波の津波のピークが海岸線に到達する時間
その他	津波に関する知識、地震や津波で避難する際の留意事項、各家庭での備え、避難所一覧など

ほか、市のホームページでも公開しています。

津波ハザードマップ

市が現在発行している津波ハザードマップは、22年に北海道が発表した津波の浸水想定に基づいて、24年に作成したものです。

その後、29年2月に、北海道から、東日本大震災を踏ま

えた、北海道日本海沿岸の新たな津波浸水想定が発表されたことから、市では津波ハザードマップの内容を見直すこととしました（津波ハザードマップに掲載を予定している情報については、右の囲みをご覧ください）。

なお、新たな津波ハザードマップは、29年11月ごろの発行を予定しており、市役所や各サービスセンターで配布す

防災マップ

るほか、津波からの避難が必要な沿岸地域には、町会などを通じて配布する予定です。また、市のホームページでも公開する予定です。

市が作成しているハザードマップは、区域や災害の種類ごとに分かれていることから、詳しい情報を確認できる一方、小樽市全体として「どこに」「どのような」危険箇所があるのか確認しにくいときがあります。

このため市では、これらの災害の危険箇所のほか、避難所などを縮尺の小さい地図に示した防災マップを作成しています。今回の津波ハザードマップの見直しに合わせて、防災マップの内容についても見直すこととしました。



なお、新たな防災マップは30年1月ごろの発行を予定しており、市役所や各サービスセンターで配布するほか、市のホームページでも公開する予定です。

ハザードマップと防災マップの活用方法

ハザードマップや防災マップに示されている災害の範囲や程度は、一定の条件に基づいて予測した結果です。

「ハザードマップに示されていない地区では、災害が起これない」ということではありません。

これらのマップに掲載されている情報を活用して、日頃から各家庭や町会などで、周辺の危険箇所や避難経路を確認しておくとともに、災害に関する正しい知識を身に付けておきましょう（4ページ左上の囲みをご覧ください）。

大きな自然災害が発生したときに役立つのは、市民の皆さん一人一人の防災意識です。

「自助」「共助」の観点で皆さんの安全を災害から守るため、ぜひこれらのマップを活用してください。

お問い合わせは、災害対策室 ☎4111 内線441、FAX 9955 へどうぞ。

防災行政無線（同報系）基本設計に係る音響伝達試験放送に関するお知らせ

市では、津波や高潮の災害時における避難情報伝達手段の多重化と確実性の向上を図るため、住家などがある沿岸地区に屋外スピーカーを設置し、避難情報を放送することを検討しています。屋外スピーカーの設置に当たっては、地形や建物などの影響によって避難を必要とする地区内（範囲）に音声が届かない場所が生じないように、設置位置や数を計画しなければなりません。

このため、地図上で計画するだけでなく、実際に屋外で試験放送を行って音声が聞こえる範囲を確認する「音響伝達試験放送」を下記のとおり予定しています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

- ▶期間 平成29年9月4日(月)~29日(金)のうち、各地区1~3日程度(土・日曜日、祝日を除く)
- ▶時間帯 午前9時~正午および午後1時~5時
- ▶内容
 - 試験用スピーカーを車両に搭載して、5m~10mの高さから音声と警報音を放送します。
 - 所定の距離の複数箇所でも音量を測定しますので、一つの試験箇所につき、1~2時間の間で断続的に試験放送が流れます。

音響伝達試験放送の実施地区

地区	海岸(岸壁)からの範囲	地区	海岸(岸壁)からの範囲
蘭島地区	約700m	高島地区	約400m
忍路地区	約400m	港湾地区(手宮~築港)	約400m~約800m
桃内地区	約400m	船浜地区	約200m
塩谷地区	約600m	朝里地区	約200m
祝津地区	約400m	銭函地区(1~3丁目)	約500m~約1500m
豊井地区	約200m	石狩湾新港地区	(樽川埠頭周辺)



☒詳細 災害対策室 ☎4111 内線489、FAX 9955 (音響伝達試験放送受託者 株式会社通電技術)

市立病院職員の採用試験を行います

採用職種 薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士、診療情報管理士
勤務場所 市立病院
受験資格 免許を所有または平成30年6月末までに取得見込みの方で、昭和53年4月2日以降に生まれた方
採用人数 若干名
採用予定日 平成30年4月1日。30年4月末までに免許取得見込みの方は5月1日。6月末までに免許取得見込みの方は7月1日。ただし、免許取得日によっては採用日を早めることがあります
試験日 9月23日(木) **試験会場** 市立病院 **試験内容** 小論文および面接
申し込み 9月8日(金)までに必要書類を直接(土・日曜日、祝日を除く)または郵送(当日消印有効)で市立病院事務部事務課へ
☒詳細 市立病院事務部事務課 ☎1211 内線2052、FAX 6424

